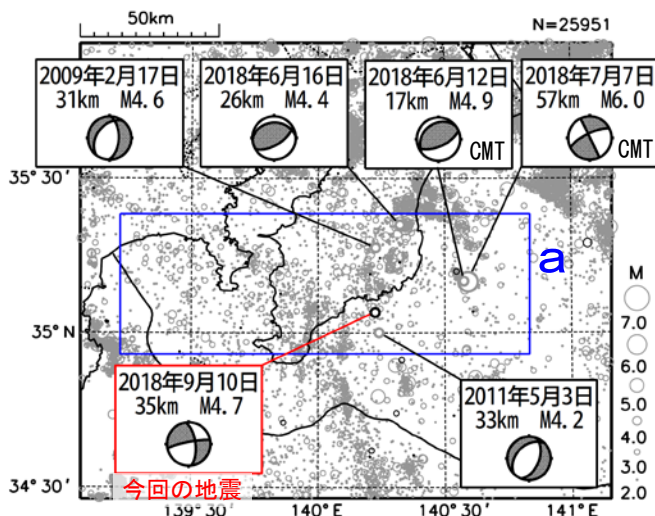


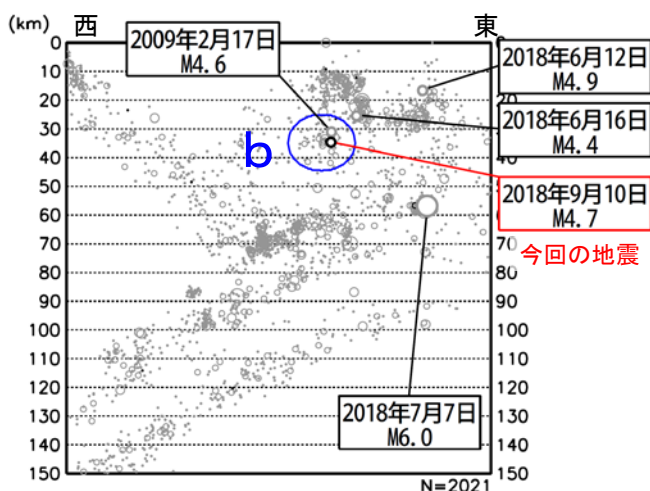
9月10日 千葉県南東沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2018年9月の地震を濃く表示

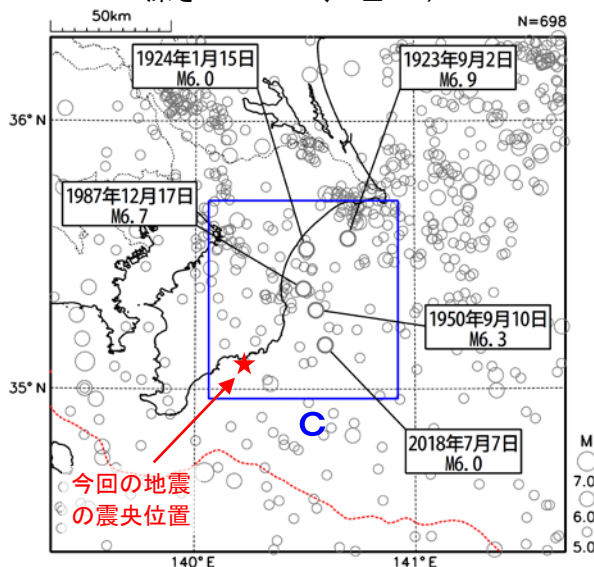


領域 a 内の断面図 (東西投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



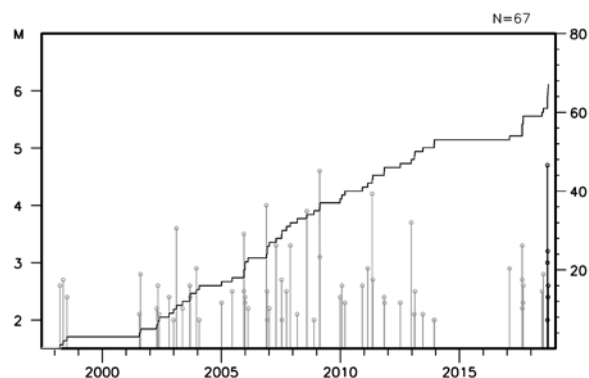
2018年9月10日23時58分に千葉県南東沖の深さ35kmでM4.7の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、6月3日からまとまった地震活動がみられ、6月12日にM4.9の地震(最大震度3)、同16日にM4.4の地震(最大震度4)が発生している。また、7月7日に太平洋プレート内部でM6.0の地震(最大震度5弱)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が3回(今回の地震を除く)発生している。このうち、これまでの最大規模の地震は2009年2月17日のM4.6の地震(最大震度4)である。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、このうち1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖の地震(M6.7、最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家一部破損7万余棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

